



Annual Report **2022**

東京女子医科大学

令和4(2022)年度 女性医療人キャリア形成センター報告書

ごあいさつ



学校法人 東京女子医科大学
理事長 岩本 絹子

平素より本学の活動にご理解ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。深く御礼申し上げます。また、令和2(2020)年2月頃から長く続くコロナ禍において、医療の最前線でご尽力されておられる医療従事者・関係各位の皆様にご心より敬意を表し、深く感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の位置づけは、「新型インフルエンザ等感染症(いわゆる2類相当)」から、令和5(2023)年5月8日からは「5類感染症」になりましたが、終息にはいたっておりません。一日も早くこの事態が収束することを心より願っております。

さて、この度、令和4(2022)年度「女性医療人キャリア形成センター報告書」が完成いたしました。ぜひご一読いただき、本学の活動へのご理解をより一層深めていただき、今後とも変わらぬご指導ならびにご支援ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

本学は、明治33(1900)年に吉岡彌生先生によって創設されて以来、建学の精神「医学の蘊奥(うんおう)を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する。」と理念「至誠と愛」のもと、女性医療人を育成し続けており、令和4(2022)年12月5日に、創立122周年を迎えました。女性活躍推進法が成立した現代においては、社会に貢献する女性医療人そして指導的立場の役割を担う人材の輩出が望まれております。また、コロナ禍により社会全体が激変する中、医療人としての真価が問われており、本学の果たす役割は非常に大きく、より一層重要な存在となっております。

本学の卒業後教育における人材育成の拠点である女性医療人キャリア形成センターにおいては、①ダイバーシティ研究環境整備、②研究力向上・リーダー育成、③上位職への積極的登用に取り組んでおります。本学の教授全体に占める女性教授の割合については、本事業開始時(平成28(2016)年5月時点)は22.6%(26名/115名中)でありましたが、本事業による環境整備や人材育成の推進により、令和5(2023)年3月末時点で29.5%(38名/129名中)にまで増加することができました。今後も引き続き、本学における本事業の成果がより一層実り多いものとなり、女性医療人が生涯を通じて活躍し続けることができる環境が社会全体で整備されることを祈念いたします。



東京女子医科大学
学長 丸 義朗

本学教職員が各部門で参加する本事業は継続して成果をあげています。これは本学教職員が女性医療人の運営に関心を持ち、また価値あるものとして認識し、その分担に尽力している表れです。建学の精神にある「社会貢献できる質の高い女性医人の育成」こそが学祖吉岡彌生先生から継承されてきた本学の礎である以上、本事業は必要不可欠な取り組みです。コロナ禍の影響を受けた年でしたが、臨機応変にきめ細かい対応策を講じ、事業の継続性を何より重視しています。事業の方法論や成果が、他大学にも波及し、女性医療人育成の手本となることを祈念いたします。

目次

ごあいさつ	1
センター長あいさつ、副センター長あいさつ	4
部門長あいさつ	5
女性医療人キャリア形成センター組織図、運営委員	6
各部門運営委員(2022年4月現在)	7
女性医療人リーダー育成部門	10
女性医師・研究者支援部門	14
女性医師再研修部門	20
看護職キャリア開発支援部門	26
ダイバーシティ環境整備事業推進室	32
YouTube(e-ラーニング)	42
活動報告	44
業績一覧	50
女性医療人キャリア形成センターのあゆみ	54
女性医療人キャリア形成センター基金	55

センター長あいさつ



女性医療人キャリア形成センター
センター長
肥塚 直美

常務理事

学校法人東京女子医科大学は吉岡彌生先生によって女子の医育機関として明治33年(1900年)に設立されました。本学の建学の精神は「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し、社会に活躍する女性医人を育成する」であり、本学の理念は「至誠と愛」です。この建学の精神と理念に則り、社会に貢献する女性医療人を育成し、広く地域社会の発展に貢献してきました。本学は文部科学省平成28年度科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択され、理事長、学長の強いリーダーシップのもとで女性医療人キャリア形成センターを中心に取り組みを進め、成果を上げることができました。この特色型の取り組みが自主的に行われることを前提に、さらに高い目標をもって取り組むこととして令和3年10月に同ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)に採択され、「グローバルヘルスリーダー育成とさらなる女性登用『YAYOIプロジェクト』」を開始し、取り組みを進めております。本センターには「女性医師・研究者支援部門」、「女性医師再研修部門」、「看護職キャリア開発支援部門」、「女性医療人リーダー育成部門」のプロジェクト部門とこれら部門と有機的に連携する「ダイバーシティ環境整備事業推進室」を設置し多面的に活動しております。今後も勤務継続支援に加え、キャリア形成を通じてリーダーとなる人材を育成し、女性医療人が生涯輝いて活躍できる社会を目指して活動してまいります。皆様のご理解、ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

副センター長あいさつ



女性医療人キャリア形成センター
副センター長
齋藤 加代子

遺伝子医療センター
ゲノム診療科 特任教授

女性医師・看護師の勤務継続に対する支援、セーフティネットを提供するだけでなく、医療人としてのキャリア形成とその促進、リーダーシップの育成を目指す「女性医療人キャリア形成センター」は、開設後6年を経ました。文部科学省人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の6年間において当初の目標である女性教授30%を達成しました。2021年度からは、本多祥子ダイバーシティ環境整備事業推進室室長が中心となって、リーダーのすそ野を拡げ、女性教授30%維持に加え、その苗床となる准教授35%、講師40%という目標を掲げた「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」の採択をいただきました。特色型に引き続き、上位職登用、研究力向上・リーダー育成、ダイバーシティ環境整備の3本柱の下に特色型をさらに発展させた先端型として活動を行っております。このように当センターは肥塚直美センター長の下に、継続して本学の女性医療人のキャリア形成支援を牽引しております。様々な事業内容にご支援をくださっている女性医療人キャリア形成センター事務局の皆様にご感謝申し上げます。東京女子医科大学における女性医療人のさらなる飛躍を推進するために、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

ダイバーシティ
環境整備事業推進室
室長

本多 祥子

解剖学
(神経分子形態学分野)
准教授



2018年4月より前任の野原理子先生を引き継ぎダイバーシティ環境整備事業(特色型)の推進に尽力して参りました。2021年度からは同事業(先端型)が採択され、YAYOIプロジェクトと銘打って様々な形で女性研究者支援を開始しております。また自分自身の介護経験から、念願の介護サポート事業も立ち上げることができました。女性医療人の皆様が、本学で常に楽しく快適に御自身の夢を追求し、それを形にできるよう、今後も引き続きお手伝いをさせていただきたいと考えております。研究・教育や臨床の現場で日々活躍しておられる皆様のご意見やお力添えが何より大切と存じます。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

女性医療人
リーダー育成部門
部門長

石黒 直子

医学部長
皮膚科学
(皮膚科学分野)
教授・基幹分野長



本部門では、女性医療人の指導者としての資質および能力の開発を支援しています。リーダーとなるために必要なもの、自分の目指す道を見出すためにどのように行動すべきかをともに考え、実践して頂いております。本科生へのキャリア面談、リーダーシップセミナー、キャリアセミナー、ピアラーニング、FDで構成され、2022年度もCOVID-19禍でもWebを活用し実施いたしました。2021年度にあらたに文科省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)に採択され、グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用として立ち上がった「YAYOIプロジェクト」と連動しつつ、今後もキャリアアップを目指して努力される皆様の引き続き支援してまいりたいと思えます。

女性医師・研究者支援部門
部門長

佐藤 麻子

臨床検査科 教授



女性医師・研究者支援部門では、子育て支援、研究支援員制度、女子中高生の理系進路選択支援を行っております。子育て支援では、院内保育、病児保育の事業支援と「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を行い、提供会員育成とスキルアップの講習会を実施し、きめ細やかな支援を可能としています。研究支援員制度では、女性医師・研究者、そして新しく、女性研究者を支える男性研究者に支援員を配置し研究の遂行を支援しています。また、女子中高生を対象とし、女性医師の体験談や交流を通して理系進路選択の支援を行っています。今後も、皆様からのなご一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

女性医師再研修部門
部門長

多賀谷 悦子

内科学
(呼吸器内科学分野)
教授・基幹分野長



本部門では、種々の理由で離職された女性医師の復職に向けて、出身大学に関わらず、ご相談を受け支援を行っております。相談者の臨床経験や現在の個人の状況、そして、今後どのような働き方を目指したいかなど、詳しくヒアリングを行い、復職のための研修や実習などの情報をご提供し、個々に合った復職支援を検討しております。キャリアカウンセリングを行っていく中で、初めと違う方向性を見出されることもあります。働き方改革も進み、女性医師の活躍により、医療全体の活性化が期待できることから、結婚、出産、育児などを契機に離職されている方が、医師としての社会貢献できるように、お力添えをさせて頂ければと考えております。

看護職
キャリア開発支援部門
部門長

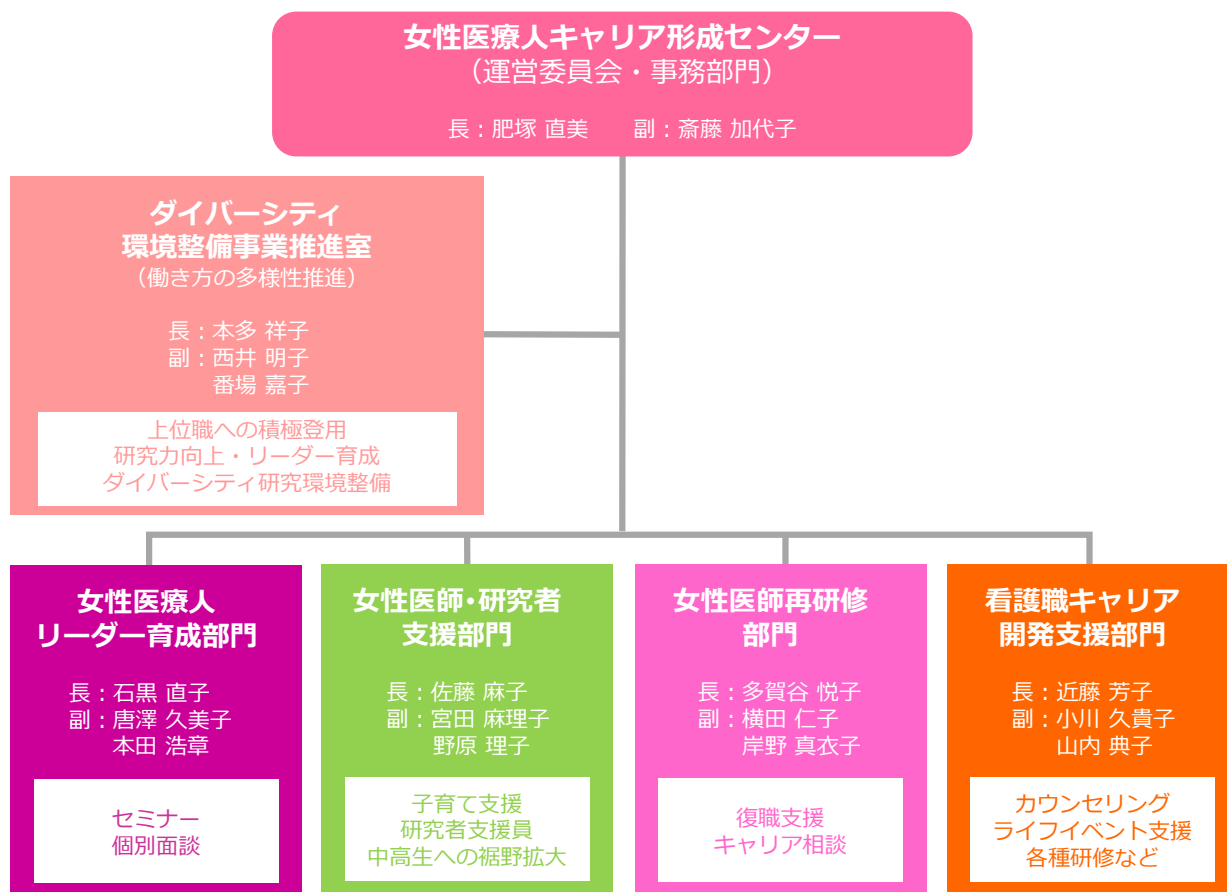
近藤 芳子

東京女子医科大学病院
看護部長



本部門は2009年4月の設立から今年で14年目を迎えました。看護職キャリア開発と勤務継続を支援するために、看護部、看護学部、看護専門学校が協働して看護職のキャリア支援システム構築や東京女子医大の看護の発信を目指しています。キャリア・メンタルヘルス相談プロジェクト、自己学習プロジェクト、変革推進育成プロジェクト、はたらき方支援プロジェクト、看護研究支援を5つのプロジェクトをたちあげ活動しています。看護学生の最新情報また、院内教育や各種委員会活動と連携しながら看護者のニーズを把握し、生涯にわたるキャリア教育に務めています。皆さまが自分らしく、専門職としての向上にキャリアを積んでいかれますよう、看護職キャリア開発支援部門として応援していきたいと思えます。今後どうぞよろしくお願ひ致します。

女性医療人キャリア形成センター組織図(2023年4月現在)



女性医療人キャリア形成センター運営委員(2023年4月現在) ※順不同、敬称略

職 位	氏 名
女性医療人キャリア形成センター長	肥塚 直美
女性医療人キャリア形成センター副センター長	齋藤 加代子
女性医療人リーダー育成部門長、医学部長	石黒 直子
女性医師・研究者支援部門長	佐藤 麻子
女性医師再研修部門長	多賀谷 悦子
看護職キャリア開発支援部門長	近藤 芳子
ダイバーシティ環境整備事業推進室長	本多 祥子
医療部門担当理事	内潟 安子
教育部門担当理事	丸 義朗
看護学部長	小川 久貴子

各部門運営委員(2022年4月現在) ※順不同、敬称略

女性医療人リーダー育成部門

	職 位	氏 名
部門長	医学部長、皮膚科学(皮膚科学分野) 教授・基幹分野長	石黒 直子
副部門長	放射線医学(放射線腫瘍学分野) 教授・基幹分野長	唐澤 久美子
副部門長	実験動物研究所 所長・教授	本田 浩章
委員	女性医療人キャリア形成センター 副センター長	斎藤加代子
委員	女性医師・研究者支援部門長	佐藤 麻子
委員	女性医師再研修部門長	多賀谷悦子
委員	看護職キャリア開発支援部門長	近藤 芳子
委員	足立医療センター 麻酔科 教授	小森万希子
委員	足立医療センター 眼科 教授	須藤 史子
委員	麻酔科学(麻酔科学分野) 教授・基幹分野長	長坂 安子
委員	微生物学免疫学(微生物学免疫学分野) 教授・基幹分野長	柳澤 直子
委員	解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 教授・基幹分野長	石津 綾子
委員	女性医療人キャリア形成センター 課長付	下村裕見子

女性医師再研修部門

	職 位	氏 名
部門長	内科学講座 呼吸器内科学分野 教授・基幹分野長	多賀谷悦子
副部門長	学生健康管理室 准教授	横田 仁子
副部門長	消化器内視鏡科	岸野真衣子
委員	足立医療センター 内科 教授	小川 哲也
委員	足立医療センター 耳鼻咽喉科 准教授	余田 敬子
委員	八千代医療センター 眼科 准教授	篠崎 和美
委員	皮膚科学講座 皮膚科学分野 准教授	福屋 泰子
委員	成人医学センター 講師	松村美由起
委員	八千代医療センター 乳腺・内分泌外科 講師	地曳 典恵
委員	産婦人科学講座 産婦人科学分野 講師	秋澤 叔香
委員	女性医療人キャリア形成センター 課長付	下村裕見子

女性医師・研究者支援部門

	職 位	氏 名
部門長	臨床検査科 教授	佐藤 麻子
副部門長	生理学(神経生理学分野) 教授・基幹分野長	宮田 麻理子
副部門長	衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野) 教授・基幹分野長	野原 理子
委員	生理学(分子細胞生理学分野) 教授・基幹分野長	三谷 昌平
委員	小児科学(小児科学分野) 教授・基幹分野長	永田 智
委員	予防医学科 教授	村崎 かがり
委員	足立医療センター内科 教授	小川 哲也
委員	八千代医療センター 病理診断科 教授	中澤 匡男
委員	解剖学(神経分子形態学分野) 准教授	本多 祥子
委員	外科学(内分泌・小児外科学分野) 准教授	堀内 喜代美
委員	統合教育学修センター 基礎教育学(日本語) 講師	辻口村 貴子
委員	統合教育学修センター 基礎科学(化学) 講師	中村 裕子
委員	経営統括部 人事課 課長補佐	小谷 浩平
委員	女性医療人キャリア形成センター 課長付	下村 裕見子

看護職キャリア開発支援部門

	職 位	氏 名
部門長	看護部 看護部長	近藤 芳子
副部門長	看護学部長 教授	小川久貴子
副部門長	八千代医療センター 看護部	山内 典子
委員	看護部 副部長	佐藤 美由紀
委員	看護部 がん看護専門看護師 エキスパートナース	渡邊 直美
委員	足立医療センター 看護部 副部長	内田 朋子
委員	八千代医療センター看護部 副部長	三好麻実子
委員	看護学部 看護管理学 講師	駒形 朋子
委員	看護学部 看護職生涯発達学 講師	吉田 千鶴
委員	看護学部 精神看護学 助教 リエゾン精神看護専門看護師	異儀田はづき
委員	看護専門学校 主事	前田 美那子
委員	女性医療人キャリア形成センター 課長付	下村裕見子



女性医療人キャリア形成センター

女性医療人リーダー育成部門



女性医療人リーダー育成部門



東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生先生の精神を受け継ぎ、社会のリーダーとしてよりよい社会を作るために活動することを目指す女性医療人のための部門です。

令和4(2022)年度実績

昇進・昇格

教授	3名
准教授	3名
講師	3名
准講師	1名

女性医療人リーダー育成部門からの 教授昇格状況

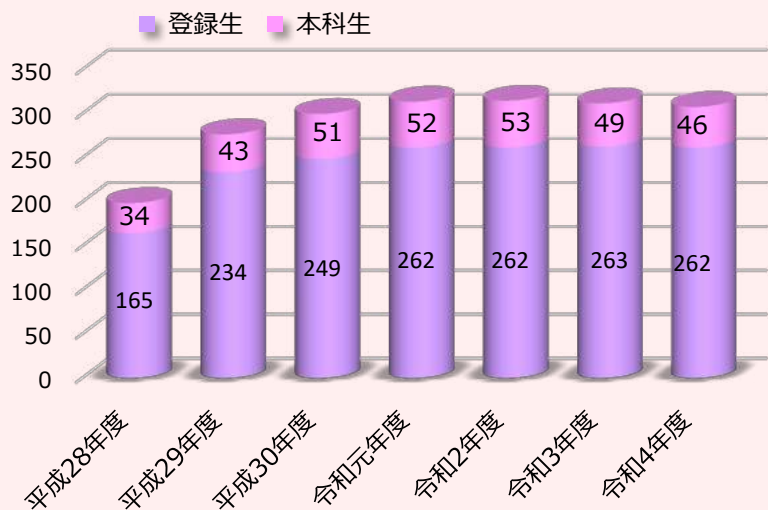
平成29(2017)年度／教授**1**名、特命担当教授**2**名
平成30(2018)年度／教授**8**名、特命担当教授**1**名
令和1(2019)年度／教授**4**名、特命担当教授**1**名
令和2(2020)年度／教授**3**名
令和3(2021)年度／教授**1**名
令和4(2022)年度／教授**3**名

個別面談

女性医療人リーダー育成部門の登録生のうち、特に個別指導やキャリア形成支援を希望する本科生に対し、個別面談を年1～2回実施しています。

令和4(2022)年度は、本科生15名に対し、副部門長ならびに運営委員が個別にキャリア面談を行いました。

登録者数



女性医療人リーダー育成部門

キャリアセミナー・リーダーシップセミナー

2023年1月19日開催 (オンライン)	キャリアセミナー 「医師会活動－これまでとこれから－」	小泉 ひろみ 先生 秋田県医師会会長 秋田こどもの心と発達クリニック院長
2023年3月23日開催 (オンライン)	リーダーシップセミナー	小森 万希子 先生 東京女子医科大学附属 足立医療センター副院長 麻酔科教授



小泉 ひろみ 先生

【キャリアセミナー】

本学ご卒業生であり、秋田こどもの心と発達クリニック院長、そして女性初となる秋田県医師会会長としてもご活躍されている小泉ひろみ先生に「医師会活動－これまでとこれから－」をテーマにご講演いただきました。第二部では、小泉ひろみ先生と齋藤加代子先生（本学ゲノム診療科 特任教授）による「キャリア形成と女性がリーダーとなる意義」について特別対談を行いました。

～参加者アンケートより～

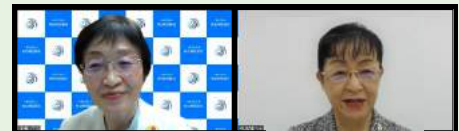
根気強く3回は交渉することなどが参考になりました

リーダーとなる方の資質のようなものを感じることができた

ご活躍の卒業生小泉ひろみ先生のご講演で大変興味深かったです

仕事を続ける大切さを改めて感じた

齋藤先生のお話の引き出し方について大変勉強になった



【リーダーシップセミナー】

本学足立医療センター副院長、麻酔科教授の小森万希子先生にご講演いただきました。司会の石黒部門長からも貴重なお話を伺うことができました。

～参加者アンケートより～

小森先生のご講演、石黒先生のご発言などから、やらなくてはいけないという強い気持ち、覚悟のようなものが必要だと思いました

研修医の時代からお世話になった小森先生のお話を聞いて、とても勉強になりました



小森 万希子 先生

経験と理論というお言葉をいただき、どんな経験も無駄ではないと思うようになります

リーダーシップは組織内でのことではなく、教育、臨床で強く発揮できると感じました



女性医療人リーダー育成部門

ピアラーニング

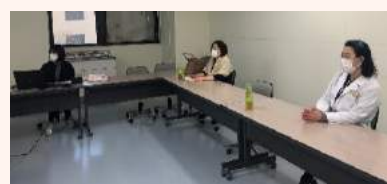
2023年3月3日開催
(対面・一部オンライン)

野原 理子 先生
衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野) 教授・基幹分野長

各科の教授から直接キャリア形成過程の体験談を聞き、その場で質疑応答できる貴重な場です。自由にキャリア形成などについて話し合い、参加者は多数の良好事例を学ぶことができます。

教授選考委員会、教授会、理事会でのプレゼンの内容とアピールポイントを教えていただいた。スライド作成における注意点も参考になりました

視覚的に分かりやすいスライドが多く参考になった



ピアラーニングの様子

～参加者アンケートより～

留学や他大学の経験など、野原先生の今までの軌跡が興味深く、参考になりました。教授を目指される方はやはりモチベーションが違うのだなと感じました

精神面のコントロールの仕方、モチベーションの保ち方、困難の乗り換え方を教えていただいた



野原 理子 先生

英語セミナー

英語セミナー (YouTube限定公開)	キャリアアップのための英語セミナー 「①Presentations」 「②Oral communication」 「③Writing」	Philip Hawke 先生 静岡県立大学 薬学部薬学科 (科学英語分野)准教授
英語論文校正費用半額補助 (2名)		かつら・コミュニケーションズ

研究力向上セミナー

研究力向上セミナー (YouTube限定公開)	科学研究費申請説明会 (2020年8月開催)	本田 浩章 先生 東京女子医科大学 実験動物研究所 所長・教授
研究力向上セミナー (YouTube限定公開)	統計学セミナー ～多変量解析の基礎～臨床研究への活用～	福島 教照 先生 東京医科大学 公衆衛生学分野 准教授



女性医療人キャリア形成センター

女性医師・研究者支援部門



女性医師・研究者支援部門



多くの指導的立場となる優れた女性医師・研究者を育成し、価値ある業績を積み重ね、将来の日本の医療に貢献することを目指して、「女性医師・研究者支援部門」を設立いたしました。子育てなどのライフイベントと診療・教育・研究を両立し、キャリア形成を継続できる環境を整備します。

女性医師・研究者支援シンポジウム2022 2022年6月収録

【挨拶】

岩本 絹子 理事長
丸 義朗 学長

【開会の挨拶】

肥塚 直美 常務理事、女性医療人キャリア形成センター長

【東京女子医科大学の女性医師研究者支援】

佐藤 麻子 女性医師・研究者支援部門長、臨床検査科 教授

【女性医師研究者研究発表会】2021年度「研究支援員制度」利用者による研究報告

座長：村崎 かがり 予防医学科 教授
演者：西井 明子 予防医学科、総合診療科、循環器内科 准教授
座長：多賀谷 悦子 内科学(呼吸器内科学分野) 教授・基幹分野長
演者：辻口 真世子 内科学(呼吸器内科学分野) 助教

【2021年度研究プロジェクト 研究報告（医学部4年生）】

座長：野原 理子 女性医師・研究者支援部門副部門長
衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野) 教授・基幹分野長
演者：奥田 悠乃〔腎臓小児科〕
佐々木 優子〔腎臓小児科〕
近藤 菜摘〔先端生命医科学研究所〕

【ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業「勤務環境改善プロジェクト」報告】

座長：本多 祥子 ダイバーシティ環境整備事業推進室長
解剖学(神経分子形態学分) 准教授
演者：菅野 勇樹 歯科口腔外科学(口腔顎顔面外科学分野) 准講師

【閉会の挨拶】

石黒 直子 医学部長

女性医師・研究者支援部門

研究支援員制度

本制度は妊娠・出産・育児・介護等のライフ・イベントにより研究活動の継続や研究時間の確保が困難となった研究者や高いレベルの研究を行っている将来有望な女性研究者を支援するもので、「研究支援員」の配置により、研究の継続と躍進を支援し、本学に於ける研究活動の活性化を図ることを目的としています。

富永 絢子 先生



研究課題 移植患者における骨粗鬆症治療の選択

最終学歴 東京女子医科大学大学院外科学 卒業

現 職 東京女子医科大学病院 整形外科学(整形外科学分野) 助教

研究内容 骨粗鬆症と足の外科の専門外来を行っています。7歳、5歳、5歳の3人の子供がおり、中々研究の時間を確保できないことが難しい点でした。

支援内容 骨粗鬆症の大量の骨密度・採血の経時的データをExcelへ入力して頂きました。足の測定データの入力も平行して行って頂きました。

メッセージ 夕方は子供のお迎えなどあり、目標はあっても中々研究成果が上がらない状況が続いていました。骨粗鬆症は膨大なデータの入力が必要で、多忙な業務の合間合間に少しずつデータ入力をしていましたが、中々進まないのが現状でした。しかし支援員さんのサポートで業務中にあっという間に多くのデータを入力頂け、研究進歩が大幅に早まり、次の研究計画を練ったり、研究費の応募にも着手する事も出来ました。本制度の関係者に深く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

望月 牧子 先生



研究課題 骨髄不全症ファンコニ貧血の造血幹細胞における細胞小器官変動の同定

最終学歴 千葉大学医学研究院 卒業

現 職 東京女子医科大学医学部 解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 助教

研究内容 マウスを使った血液学、特に造血幹細胞の機能解明に着目して研究を進めています。データは思った通りにならないことも多いですが、その解釈をすることに研究の魅力を感じます。またこれまでの研究と自分の得た知見、さらに未だ明らかにされていない事象とデータを通じて繋がれることにやりがいを感じます。

支援内容 マウス、特に遺伝子改変マウスはその遺伝形をジェノタイピングPCRで明らかにして管理していかなければなりません、手間がかかり、1人でこなすことに限界を感じていた為、支援をいただきました。

メッセージ これまで一人で行ってきた仕事を分担していただくことで余裕が生まれ、研究の構想や論文執筆にウエイトをかけられるようになり大変助かりました、感謝致します。

女性医師・研究者支援部門

女性研究者を支える
男性医学研究者のための研究支援員制度



令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業（先端型）」の一環として、女性研究者を支援している男性医学研究者のための研究支援員制度を開始いたしました。
第1回目の採択者、出雲渉先生をご紹介します。

出雲 渉 先生



研究課題

CT画像を用いた膵切除後の新規糖尿病発症のリスク因子の検討

最終学歴

群馬大学医学部医学科卒業

現職

東京女子医科大学 外科学(肝胆膵外科学分野) 助教

研究内容

膵癌は予後不良な疾患の代表であり、かつ膵切除には糖尿病の新規発症という問題点があります。この2点について改善を図ることは、膵疾患の予後向上に寄与し膵臓病学の進歩に資するものと考え、大変やりがいのある研究をさせていただきました。

支援内容

研究支援員の方には、対象となる症例に対し、各種パラメーターを入力いただき、それらを整理・判別しやすくしていただく業務を行っていただきました。

メッセージ

支援員の方には常にパソコンにデータを入力いただく形となり、細かい数字もあったため体力的にもかなりの負担となったことが推察されますが、おかげ様で貴重なデータ整理が可能となり、論文作成に取り掛かっております。支援員の方はもとより、関係各位の皆様方、本制度への応募をご推薦頂きました板橋教授に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

女性医師・研究者支援部門

子育て支援

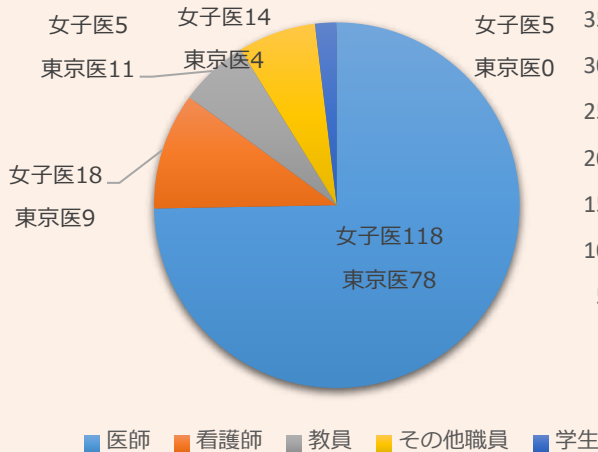
女子医大・東京医大 ファミリーサポート



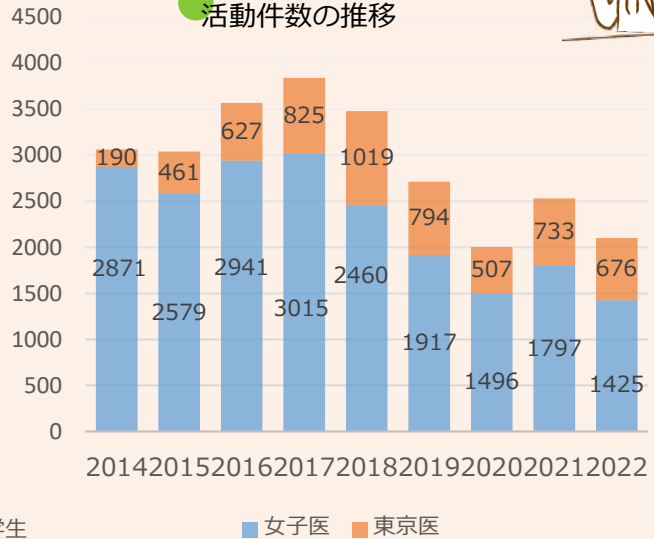
子育て支援を受けたい人（依頼会員）と
子育て支援をしたい人（提供会員）が会員登録をし、
コーディネーターが調整をする会員制の相互援助活動です



2022年度依頼会員262名の内訳



活動件数の推移



※女子医：女子医大、東京医：東京医大

※2022年度はCovid-19感染拡大防止のため予定していた「**全体交流会**」を中止いたしました。
スキルアップ研修会はZoomで開催いたしました。

本学では院内保育所を設置し、教職員の勤務をサポートしています

(人事課管轄)

院内保育所

2022年度保育所利用者延べ人数表

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
昼間保育	36	6	8	44	44	41	20	5	25	59	95	120	503
延長保育	0	1	2	3	4	0	2	0	2	1	0	6	21
夜間保育	0	1	4	6	4	0	4	0	4	0	0	10	33
休日保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病児保育	1	4	13	11	12	8	11	3	9	5	13	5	95
計	37	12	27	64	64	49	37	8	40	65	108	141	652



女性医療人キャリア形成センター

女性医師再研修部門



女性医師再研修部門



女性医師再研修部門は、
相談者の出身大学を問わず、
「復職相談&再研修」を実施しています。

相談者の出身大学を問わず、全国から復職相談を受け付けており、キャリアカウンセリングやオーダーメイドの研修を実施することで女性医師の復職支援活動を行っています。

(2023年9月現在、Covid-19感染防止のため、病院での研修は中止しております)

研修・相談の流れ

何かをしなければと
思っているのだけど…

どこに相談すればよいか
わからない

何から始めればよいか
わからない



「研修ありき」ではなく、
相談者の声に耳を傾け
「これからの自分」
をサポート

研修する、しないに関わらず
相談だけでもOKです。
お気軽にご相談ください！



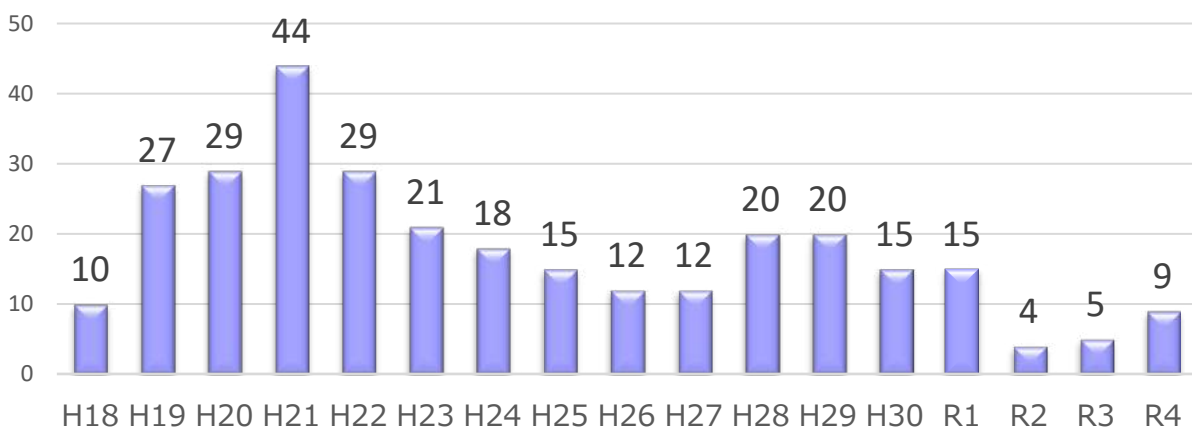
女性医師再研修部門

2022年度相談者状況(2023年3月末現在)

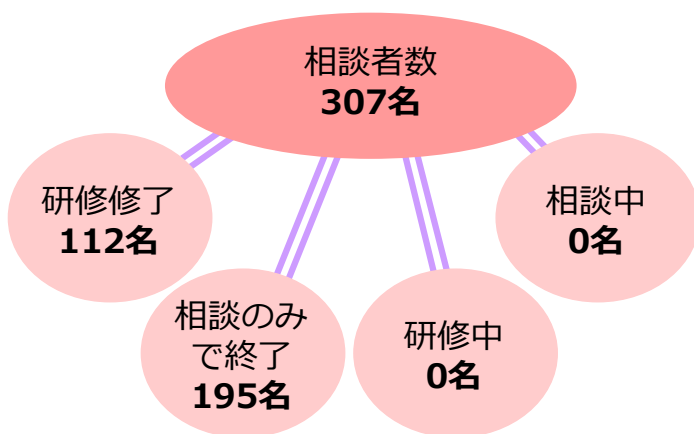
平成18(2006)年の設立以来、相談された方は307名となりました。
内訳は実際に研修をされた方が112名、研修を行わず働き方などを提案・紹介した方が58名、同じく研修を行わず相談のみで修了された方が137名となります。



相談者数の推移

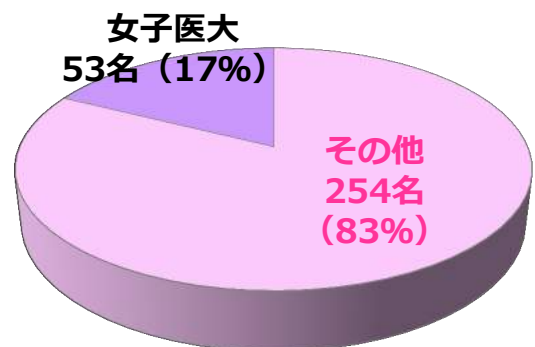


対応状況



※研修以外の提案を行ったケースも含む
(非常勤で勤務など)

出身大学

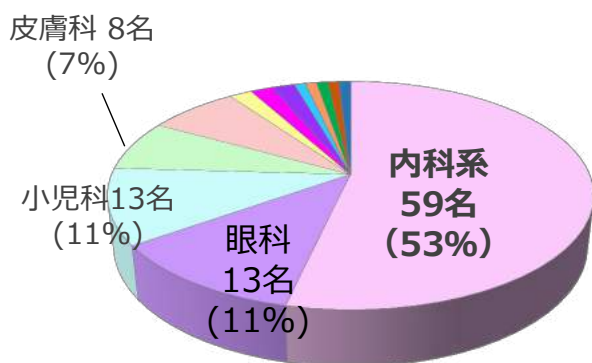


相談者の8割以上が「本学以外の卒業生」です



女性医師再研修部門

研修先診療科の割合

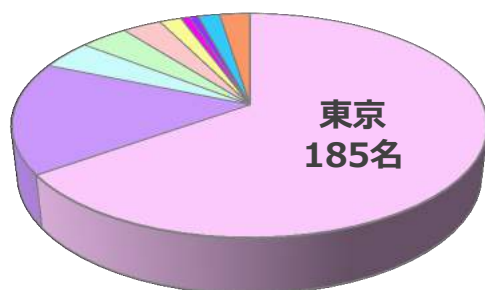


内科系	59名
眼科	13名
小児科	13名
女性外来・メンタルケア	8名
皮膚科	8名
産婦人科	3名
麻酔科	2名
耳鼻咽喉科	1名
整形外科	1名
神経精神科	1名
遺伝子医療センター	1名
膠原病リウマチ痛風センター	1名
病理学講座 病態神経科学分野	1名

相談者の約8割が本学以外をご卒業された先生です。

令和4(2022)年度はCovid-19の影響により研修は中止となりましたが、メールやzoomを活用し、復職やキャリア相談に対応しました。

お住いの地域



東京	195名
関東地方	46名
中部地方	13名
九州・沖縄地方	11名
近畿地方	10名
東北地方	5名
中国地方	2名
北海道	1名
海外	5名
不明	8名

女性医師再研修部門

相談・研修報告

2022年度はCovid-19の影響により、前年度に続き病院での実地研修は中止いたしました。メールによる復職・キャリア相談の受け付けを継続し、zoomも活用しながら相談者へのアドバイスや今後の方向性に関する提案などを行いました。



相談者概要(2022年度)

	相談者	希望診療科	対応
1	60代前半 子供1人 非常勤勤務	内科 または 精神科	【相談のみ】 Covid-19の感染拡大により、どの施設でも施設外からの立ち入りが難しいこと、またお住いの九州地方でご紹介できる研修施設もないことから、今回は対応を見送ることとなった。
2	20代後半 非常勤勤務	未定	【Zoom面談実施】 今までのご経歴等を確認し、今後の方向性についてアドバイスを行った。もともと考えていたビジョンについて後押しされたとのことで、面談がきっかけとなって方向性も定まり、具体的な行動に繋がった。
3	50代後半 子供1人 常勤	未定	【Zoom面談実施】 今までのご経歴等を確認し、今後の方向性についてアドバイスを行った。面談の中で次の行動へのヒントがあったため、それを指摘して一緒に今後の方向性を検討した。あと一歩踏み出せていなかったが、面談がきっかけとなり具体的な行動に繋がった。
4	40代後半 非常勤勤務	小児科	【相談のみ】 メールでの対応を行った。
5	30代後半 子供1人 常勤	内科	【相談のみ】 メールでの対応を行った。

女性医師再研修部門

	相談者	希望診療科	対応
6	30代後半 非常勤勤務	内科	【Zoom面談実施】 詳しくお伺いした現状等を踏まえ、今後の選択肢についてアドバイスをを行った。
7	60代前半 子供1人 離職中	未定	【Zoom面談実施】 今までのご経歴や現状などを詳しくお伺いしたところ、外来見学等を依頼できる可能性のある医師が判明。外来見学の依頼は当部門がサポートし、外来見学自体は当部門を通さず、個人的に実施することとなった。
8	40代前半 子供2人 非常勤勤務	内科 緩和医療	【相談のみ】 ご相談内容を踏まえ、本学の化学療法・緩和ケア科とも連携し、アドバイス等を行った。
9	30代後半 離職中	内科	【Zoom面談実施】 今までのご経歴や現状などを詳しく伺い、今後について要望なども伺った。適していると思われるHPや団体を紹介し、本人からは面談をしたことで知らなかった情報を得ることになり、大変助かったとのコメントをいただいた。



女性医療人キャリア形成センター

看護職キャリア開発支援部門



看護職キャリア開発支援部門



看護職のキャリア開発と勤務継続を支援するために、看護部、看護学部、看護専門学校が協働して、看護職のキャリア支援システムの構築を目指して5つのプロジェクトで活動しています。院内教育や各種委員会活動と連携しながら看護職者のニーズをキャッチし、一人ひとりの看護職者が生涯成長し続けるために役立つ内容を盛り込んだ活動をおこなっています。

キャリア・メンタルヘルス相談プロジェクト

キャリアカウンセリング

キャリアカウンセラーがキャリア上の問題を一緒に考えたり、キャリア開発の支援を行っています。

令和4(2022)年度実績

◆キャリアカウンセリング申込数 8件



メンタルヘルスカウンセリング

本人のみならず、不調を支える側のカウンセリングも実施しています。

令和4(2022)年度実績

◆メンタルヘルスカウンセリング 221名(724回)
◆メンタルヘルスの不調な看護師を支援する看護職者の相談 205名(223回)

「看護職者の職業ストレスと職務意欲に関する調査」(業務の一環として実施)

- ・昨年に続き、2022年6月に実施し、1,742名より回答。(回答率88.4%)
- ・2022年12月までに81部署および希望者90名宛に調査結果(ストレス反応、ストレス源、勤務継続意思・職務満足)のフィードバック用紙を返却。
- ・倫理委員会の承認を得て、調査結果の一部を東京女子医科大学看護学会第18回学術集会(2022年10月)、東京女子医科大学病院看護研究発表会(2022年12月)、EAFONS2023(2023年3月)で発表。

看護職キャリア開発支援部門

自己学習支援プロジェクト

看護専門領域スキルアップ研修

専門領域における知識や技術を深め、日々の看護実践能力を向上します。

ZoomやYouTube研修を導入し、大幅に受講者が増加しました。令和5(2023)年度も引き続きwebも活用し、様々な研修を行ってまいります。

令和4(2022)年度実績

- ◆全16領域、42研修を実施
- ◆年間のべ7335名が研修参加 (Zoom,YouTubeも併用)



変革推進力育成プロジェクト

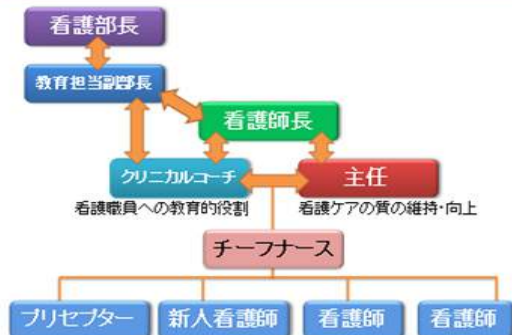
クリニカルコーチ育成研修

クリニカルコーチは、部署において看護師長や主任と連携しながら教育的役割を担い、看護職者や看護学生を支援しています。

令和4(2022)年度実績

- ◆第8期研修は見送ることが決定
- ◆日本難病看護学会第27回学術集会の近藤真樹先生(株式会社コミュニケーション・ファンデーション)の講演をオンデマンドにて受講後、10/12に「想いや気持ちを引き出すコーチング」をテーマに講義とグループワークを実施(40名参加)

クリニカルコーチの位置づけ



看護職キャリア開発支援部門

師長の変革推進能力向上支援

看護師長のキャリアアップと変革推進力を高めるための支援を行っています。
2022年度は研修ニーズ把握のため、昨年度の研修後のアンケート結果の再確認、また各施設の師長に対してヒアリングを実施した。
その結果を踏まえ、2023年度にセミナー等を開催する。

看護研究推進プロジェクト

看護部門と看護基礎教育機関(看護学部・看護専門学校)による研究活動の連携を推進し、看護の実践、教育、研究の質の向上を図っています。

「研究支援者ピアサポートの会」開催

2022年度は3回実施した。個人的な研究相談などの意見交換や研究計画についての相談と助言など内容も様々で、実際に参加者は相談後に論文作成や研究を進めている。

研究動向や新たな研究手法などのセミナー

Covid-19の影響により事例研究セミナーの開催は延期となったため、2023年度に改めて開催を検討する。

看護部および看護学部の研究活動・研究サポート活動の連携の推進

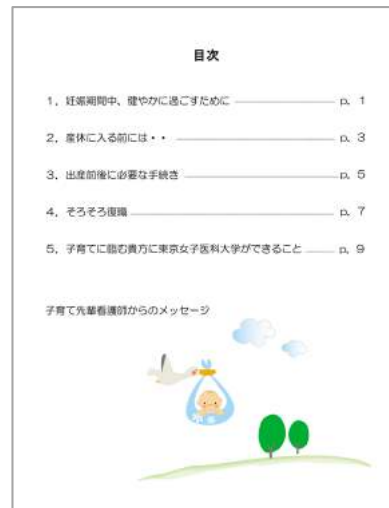
プロジェクト活動について8/19日本看護管理学会のインフォメーションエクステンジにて発表・質疑応答を実施した。看護部における看護研究に対する研究支援の在り方なども継続して検討しながら、今後も引き続き研究活動や研究サポートを実施していく。

看護職キャリア開発支援部門

はたらき方支援プロジェクト

ライフイベント支援

妊娠・出産という女性にとって大きなライフイベントを迎えた方を対象に、ガイドブック「新しい家族を迎えるにあたって～ワーキングママ&パパを応援する本～」を配布しています。学内での様々な制度や手続き、また先輩子育て看護師からのメッセージも掲載されています。



キャリア支援制度

休職をしないで育児、進学、介護と日常の看護業務を両立できる制度や、国外研修のための休職制度、さらにキャリアアップのための「在籍したまま進学できる制度」を設けています。

① 看護職キャリア継続支援のための短時間勤務

休職はせずに「育児」「介護」「進学」等をしたい！
日常の看護業務と両立したい！

② 看護職国外研修休職

海外語学・看護研修、ワーキングホリデーでキャリア形成したい！

③ 看護職進学休職

在籍したまま進学したい！
業務に必要な資格取得や看護知識・技術のブラッシュアップをしたい！



女性医療人キャリア形成センター

ダイバーシティ 環境整備事業推進室



ダイバーシティ環境整備事業推進室



本学は平成28年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択され、令和3年度に事業を終了し、【総合評価A】をいただきました。この「特色型」での取組は自主的に行われていることを前提として更に高い目標を掲げるとともに、女性研究者の活躍促進を踏まえたより広いダイバーシティ研究環境の形成を図る先端的な取組を進めていく機関として令和3年度「同(先端型)」に採択され、各部門と連携し、3つの柱を基盤として様々な取り組みを行っています。

令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」

グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用

『YAYOIプロジェクト』

Your Attention to Your Own Innovation !



学祖 吉岡彌生(やよい)先生

「特色型」のフレームに先端的取組を追加し、以下を達成することを本事業の目標といたします。

- 女性在職比率：教授30%、准教授35%、講師40%
- 新規採用、昇進・昇格において、後進女性研究者の指導能力や国際活躍業績等を入れる
- 女性研究者の科研費等競争的研究資金の申請数増加、新規採択率の向上をめざす
- 介護支援の充実をはかる

テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウトカム	教授 30% 准教授 35% 講師 40%	科研費等応募数 30%増 科研費等採択数 20%増 原著論文等 10%増	研究者の満足度向上 介護支援制度の利用 研究者の働き方改革
プロセス	①女性准教授・講師 新規採用、昇進昇格 ②学長指名推薦による 女性教授登用 ③オープンイノベーション 講演会・交流会	①架け橋研究支援 ②バーチャル研究交流、 国際交流実施 ③AI研究 インターンシップ制度	①託児費用補助制度 休日・病児保育利用者数 モニタリング ②介護支援の実践的援助 ③研究支援員制度の拡大 (育児・介護中男性研究者枠)
ストラクチャー	ダイバーシティ環境整備事業推進室、女性医療人リーダー育成部門、女性医師研究者支援部門 理事長・学長・ 常務理事会議、理事会、 教授会	研究戦略会議、国際交流委員会、 研究科委員会 先端生命研究所 メディカルAIセンター	研究推進センター 法人、病院
事業主行動計画	目標1 女性教授比率30%達成、維持		目標2 介護支援制度利用者比率0.6%
中長期ビジョン	女性が活躍できる環境を整え、本学の理念「至誠と愛」の下に 国際的に活躍し、リーダーシップを発揮できる女性を育成する		

ダイバーシティ環境整備事業推進室

ダイバーシティ環境整備事業報告会

令和4(2022)年7月30日(土)オンラインにて「令和3年度 ダイバーシティ環境整備事業報告(特色型・先端型)」が開催され、これまでのダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)6年間の成果と、令和3年度よりスタートした、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)における初年度の取組、研究支援者の実績を報告しました。特別講演には、宮浦千里先生(中部大学 総長補佐・特任教授)をお招きし、「科学技術領域におけるダイバーシティ推進」のテーマでご講演いただきました。



<https://youtu.be/GWTg9svGzFQ>
当日の様子はQRコードより
YouTubeにてご覧いただけます。

上位職への積極登用

女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

現役准教授や講師をロールモデルとした「ピアラーニングforやよいびと」を開催し、演者をメンター・参加者をメンティーとした個別アドバイスを実施しています。

第1回 2022年 9月28日 開催	赤穂理絵先生 (東京女子医科大学 精神医学(精神医学分野) 准教授) 石垣景子先生 (東京女子医科大学 小児科学(小児科学分野) 准教授)
第2回 2022年 12月19日 開催	井坂珠子先生 (東京女子医科大学 外科学(呼吸器外科学分野) 准教授)
第3回 2023年 2月22日 開催	丸山千秋先生 (東京都医学総合研究所 脳・神経科学研究分野 脳神経回路形成プロジェクト・プロジェクトリーダー)

ダイバーシティ環境整備事業推進室

上位職への積極登用

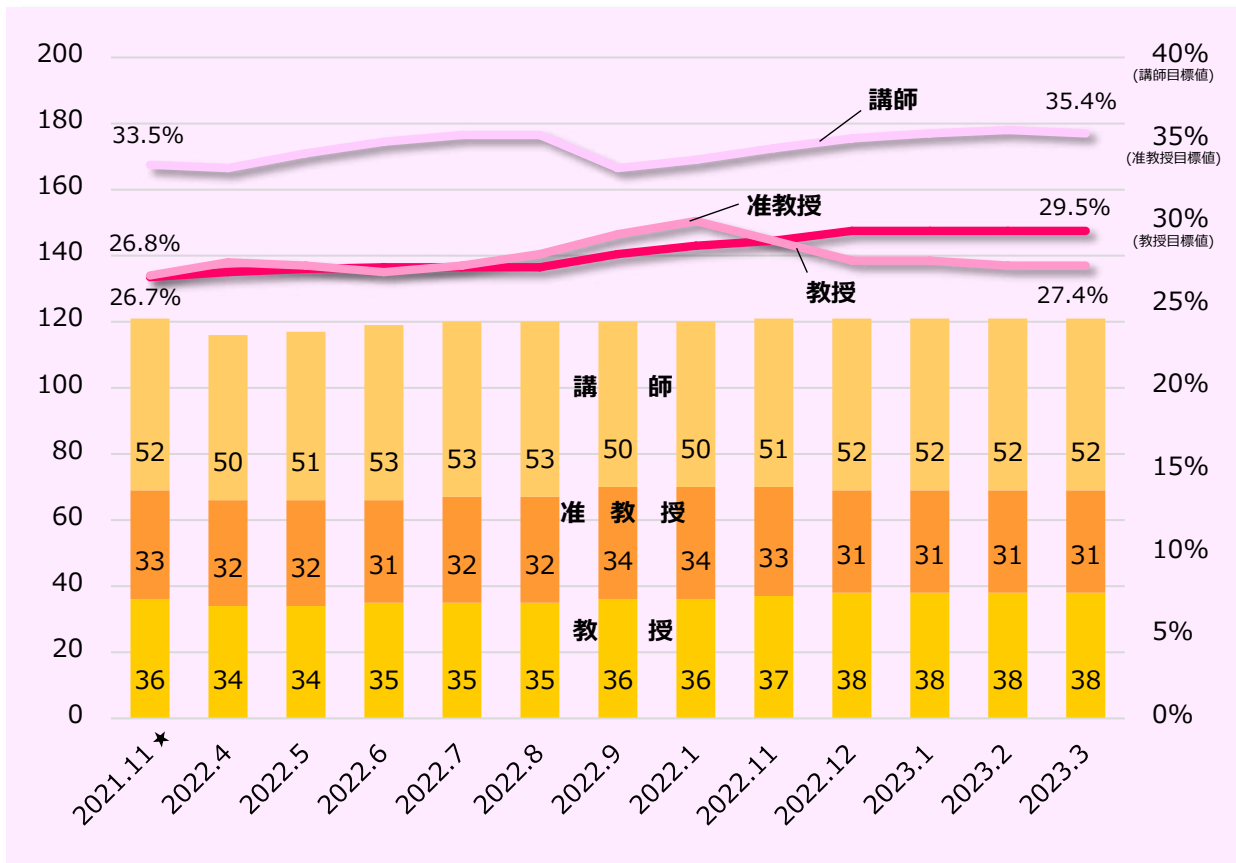
学長指名推薦による女性教授登用

国内外において優れた実績のある女性教職員（医師以外の女性研究者も含む）の上位職登用を推進しています。令和4(2022)年度は、教員評価制度の高評価に基づいて学長指名推薦を受けた女性教授候補者が、第三者評価による公正な教授選考委員会の選考を経て、**3名**が教授に任命されました。

【職位別在籍数と女性割合】

	教授				准教授				講師			
	女性割合	女性	男性	合計	女性割合	女性	男性	合計	女性割合	女性	男性	合計
2021年11月★	26.7%	36	99	135	26.8%	33	90	123	33.5%	52	103	155
2023年3月	29.5%	38	91	129	27.4%	31	82	113	35.4%	52	95	147

【職位別女性在籍数と女性割合 2022年度推移】



★：ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）事業開始

ダイバーシティ環境整備事業推進室

上位職への積極登用

「彌生人メンター・メンティ賞」の設立

優れた研究指導の結果、女性研究者＝メンティ（医師、看護師、non-MDを含む）が筆頭著として論文掲載を成し遂げた場合、または筆頭演者として学会発表等を行った場合、指導に当たった研究者＝メンター（医師、看護師、non-MDを含む、男女問わず）と当該メンティのメンター・メンティペアを対象として両者を表彰し、メンティに対して研究助成を行う「彌生人メンター・メンティ賞」を設立しました。令和4(2022)年度は、4ペアが受賞し、令和4(2022)年11月2日に授与式を行いました。

※採択時の職位・所属を記載

メンティ		メンター	
氏名	所属・職位	氏名	所属・職位
橋田綾菜先生	八千代医療センター整形外科 助教	岡崎賢先生	外科学(整形外科学分野) 教授・基幹分野長
菊池麻美先生	足立医療センター脳神経外科 助教	久保田有一先生	足立医療センター脳神経外科 教授
武藤友香先生	栄養管理部 栄養士	永田智先生	小児科学(小児科学分野) 教授・基幹分野長
落合萌子先生	内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 助教	田中榮一先生	内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 准教授



授与式の様子（令和4(2022)年11月2日開催）

（前列左から）

本多室長、肥塚センター長、齋藤副センター長

（後列左から）

岩倉先生(岡崎先生代理)、橋田先生、菊池先生、武藤先生、永田先生、落合先生

※久保田先生、田中先生ご欠席

ダイバーシティ環境整備事業推進室

オープンイノベーション講演会・交流会の実施

医・工・理の異分野連携、異業種連携の場として、オープンイノベーション講演会を開催しています。広く学内外、国内外から女性研究者の参加を促すことで、女性研究者を中心としたコミュニティの形成、活性化を推進しています。

第2回 2022年 8月4日 開催	「究極のAI外科医を作りたい ～進化する大腸癌手術～」 番場嘉子先生(東京女子医科大学 外科学(下部消化管外科学分野) 講師、メディカルAIセンター 副センター長)
	「低侵襲手術を支援するロボット・ナビゲーションシステム」 小林英津子先生 (東京大学大学院工学系研究科 精密工学科/ 精密工学専攻 教授)
第3回 2023年 1月26日 開催	「女性の活躍とヘルスリテラシー」 北奈央子先生 (株式会社ジョコネ。代表取締役、NPO法人女性医療ネットワーク 理事)
	「研究者の夢と目覚め～血中タンパク質AIMの臨床応用をめざして～」 新井郷子先生 (東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 分子病態医科学部門 准教授、一般社団法人AIM医学研究所 副所長)

研究力の向上

基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援

基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ架け橋研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援します。令和4(2022)年度は「架け橋研究支援制度」にて、5名の女性研究者を『架け橋研究支援金』により支援しました。

※採択時の職位・所属を記載

氏名	所属・職位	研究課題
坂井晶子 先生	内科学(循環器内科学分野) 助教	「アンモニアPETによる微小血管狭心症の診断から治療 ストラテジーの確立」
青木信奈子 先生	先端生命医科学研究所 助教	「心筋組織における血管新生抑制性制御の意義の解明」
番場嘉子 先生	外科学(下部消化管外科学分野) 講師	「大腸癌手術におけるデジタルツインを用いた3Dモデル 作成と手術シミュレーション」
金谷萌子 先生	生理学(神経生理学分野) 助教	「視床後内側腹側核における神経回路変化の機能的意義 の解明」
辻口真世子 先生	内科学(呼吸器内科学分野) 助教	「個別化医療を目指した原発性線毛機能不全症気道上皮 培養細胞のライブイメージング」



(左から) 金谷先生、番場先生、青木先生



(左から) 坂井先生、辻口先生

ダイバーシティ環境整備事業推進室

バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

国際共同研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援します。令和4(2022)年度は「国際共同研究支援制度」にて、3名の女性研究者を『国際共同研究支援金』により支援しました。

※採択時の職位・所属を記載

氏名	所属・職位	研究課題
望月牧子先生	解剖学 (顕微解剖学・形態形成学分野) 助教	「骨髄不全症における造血幹細胞のミトコンドリア代謝機能変容の解明」 「Understanding the changing of mitochondria metabolism in BMF HSC」
岡本祐子先生	内科学 (膠原病リウマチ内科学分野) 講師	「関節リウマチ発症ハイリスク者に認められるT細胞受容体シグナル変容」 「Altered T cell receptor signaling in at-risk for future development of rheumatoid arthritis」
河村(中山)寿子先生	生理学 (神経生理学分野) 助教	「社会性を欠いた生活環境下での感覚情報処理神経回路の破綻」 「Disruption of neural circuits in the sensory thalamus under living in social isolation」



(左から)
河村(中山)先生、岡本先生、望月先生

「英語論文掲載料補助制度」の実施

国際共同研究の成果として国際学術雑誌掲載が決定した英文成果報告に対し、掲載料を補助しています。令和4(2022)年度は7名支援しました。

女性研究者をつなぐリアルタイムコミュニケーションツール「Slack」の活用

研究力向上、共同研究の促進・活性化を目的に、オンラインコミュニケーションツール「Slack」を利用した【YAYOIコミュニティ】を開設しました。国際共同研究支援採択者を中心に、国際共同研究に関する情報交換や若手研究者からの海外留学相談など、研究者同士の交流が広がっています。

国際共同研究用デジタルプラットフォームの構築

アバターロボットを使用するためのデジタル環境の構築

海外との共同研究を活性化するためにデジタル環境の整備を進めています。

「国際研究講演会・交流会開催支援」の実施

新たな国際的研究交流の増加、国際共同研究の活性化を推し進めることを目的として開催された講演会・交流会に対し、謝金を支援する制度を設立しました。令和4(2022)年度は、解剖学(顕微解剖学・形態形成学)石津綾子教授・基幹分野長が主催するテキサス大学の吉本桃子先生による講演会を支援しました。

ダイバーシティ環境整備事業推進室

研究力の向上

保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

保健医療分野でのAI研究を新たにスタートする女性研究者を支援します。令和3(2021)年度は「AI研究スタートアップ支援制度」にて、4名の女性研究者を『AI研究スタートアップ支援金』により支援しました。

※採択時の職位・所属を記載

氏名	所属・職位	研究課題
稲野辺奈緒子先生	看護学部 講師	「看護師の観察力向上のためのAIを活用した訓練プログラムの開発」
中尾梨沙子先生	内科学 (循環器内科学分野) 予防医学科 助教	「深層学習による仮想心筋PETとSPECT補正診断技術」
富永絢子先生	整形外科 (整形外科分野) 助教	「AIを活用した単純X線検査での骨粗鬆症スクリーニング検査の確立」
河合萌子先生	眼科学(眼科学分野) 助教	「画像間距離測定による地図状萎縮進行の評価」



(左から) 稲野辺先生、河合先生、中尾先生



富永先生

「AI講習会、研修会 参加費補助制度」の実施

AI研究へ参画を希望する女性研究者が、学内外のAI講習会や研修会等に参加する場合の参加費用を補助しています。令和4(2022)年度は1名支援しました。

「AIインターンシップ制度」の構築

保健医療分野におけるAI研究を活性化するプロジェクトとして、希望者がAI医療研究実践に必要な基本知識を効率良く学べるAIインターンシップ制度を実施しています。

8月を除く毎月開催	AI・臨床統計無料相談会
2022年12月21日開催	画像データ 演習会
2023年2月13日開催	医療・ヘルスケアAI講演会
2023年2月20日開催	表形式データの機械学習 演習会

ダイバーシティ環境整備事業推進室

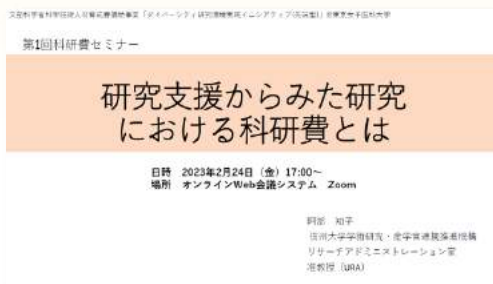
研究力の向上

科研費採択率向上のための申請書レビューの実施

女性研究者約40名に対し、科研費申請書の無料申請書レビューを実施しました。外部機関にて実際の申請書を添削、倫理構成に関するコメントや文章表現など、具体的なアドバイスを受けることができました。

科研費セミナーの開催

第1回目は阿部知子先生（信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 リサーチアドミニストレーション室 准教授）をお迎えし、「研究支援からみた研究における科研費とは」をテーマにしたご講演と、本学の女性研究者やURAとの座談会をオンラインにて開催しました。



勤務環境の改善

「学会参加時の託児費補助制度」の実施

学会など（オンラインを含む）に参加する育児中の女性研究者が、託児サービスを利用する際、その費用の一部または全額を補助しています。令和4(2020)年度は5名支援しました。

保育制度の整備

院内保育所のICT環境整備を進めています。タブレット端末と専用ソフトを用いて、保育園の登降園時間管理や保育日誌等をデジタル化することで、利便性や事務作業効率を上げ、安全な保育を提供しています。また、保育満足度とニーズ把握のための新規利用者アンケート調査を行い、状況に応じた保育の提供を検討しています。



親の不安や気になることも相談できるので、大変助かります。

いつも丁寧に生活を把握していただいている安全管理に努められていることが伝わってきます。

～利用者の声～

よく子どものことを見てくれているので、安心してます。

ちょっとしたことで耳を傾けて下さって対応して頂いてます。落ち着いた保育をして頂いています。

ダイバーシティ環境整備事業推進室

実践的介護支援体制の構築

「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を委託しているNPO法人子育てネットワーク・ピッコロのファミリーサポートのノウハウを活用した、“ちょこっと介護見守り支援”を開始しました。まだ本格的な介護は必要としないけれど、独りにしておくのはご家族から見ると不安がある、という「ちょっとした見守り」を必要とされる女子医大教職員のご家族を対象に、食事の見守りや外出時の付き添い、話し相手などの「ちょこっと」した見守り支援を実施しています。提供会員講習会を受講し修了した「提供会員」の皆さんが支援を行っています。



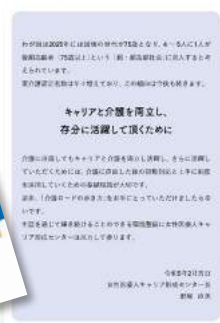
提供会員の皆さんと板橋病院長（前列中央）



提供会員講習会の様子

介護支援ハンドブックの作成

「介護に直面した際の初動対応と、上手に社会制度を活用するための基礎知識が大切です。介護によってキャリアを諦めることのないよう、介護支援ハンドブック「介護ロードの歩き方」を作成し、全教職員に配布しました。



介護講演会の開催

介護を身近に感じる機会を提供するため、介護経験者による介護講演会を開催しました。第1回目は、NHKスペシャル「認知症の母と脳科学者の私」にご出演の恩蔵絢子先生をお招きし、「脳科学から見た認知症」とテーマにしたご講演と、本学教職員との座談会をオンラインで開催しました。



研究支援員制度における対象者範囲の拡大

女性研究者に加え、女性研究者を支える男性研究者1名の支援枠を令和4(2022)年度より新設。出雲渉先生（外科学 肝胆膵外科学分野 助教）が支援対象に決定し、2022年10月1日～2023年3月31日まで支援員による研究支援を実施しました。



女性医療人キャリア形成センター

YouTube(e-ラーニング)



YouTube(e-ラーニング)

女性医療人キャリア形成センターではYouTubeを活用し、研究力向上やキャリア形成支援などを目的としたさまざまなセミナーや講演会を提供しております。

2022年度実績

《新規公開》

	公開月	シリーズ	タイトル	視聴回数
1	2022年 9月	ダイバーシティ 環境整備事業	2021ダイバーシティ環境整備事業報告会(特色型)(先端型) ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長 解剖学(神経分子形態学分野) 准教授 本多 祥子 先生	80
2	2023年 3月	介護支援	第1回介護講演会 金城学院大学・早稲田大学・日本女子大学 非常勤講師 恩蔵 絢子 先生	41

《公開中》

2022年度より前に制作した動画も、引き続き公開しております。

(一部抜粋)

シリーズ	タイトル
研究力向上 セミナー	臨床研究初学者のための統計の基本 ～医療系データの分析入門編～2020 東京医科大学 公衆衛生学分野 講師 福島 教照 先生
研究力向上 セミナー	統計学「多変量解析の基礎 ～臨床研究への活用～」 東京医科大学 公衆衛生学分野 講師 福島 教照 先生
リーダーシップ セミナー	リーダーに求められるストレス対処の処方箋 精神医学(精神医学分野) 准教授 赤穂 理絵 先生
リーダーシップ セミナー	チームコンサルテーション(多職種協働) 精神医学(精神医学分野) 准教授 赤穂 理絵 先生
英語論文 セミナー	①Presentations ②Oral communication ③Writing 静岡県立大学 薬学部薬学科(科学英語分野) 准教授 Philip Hawke 先生
科研費申請	科学研究費申請説明会(2020年8月開催のセミナー) 審査員から見た採択したい科研費申請書の書き方 実験動物研究所 所長・教授 本田 浩章 先生



女性医療人キャリア形成センター

活動報告・業績一覧等



活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

	日付	内容	リ	支	再	看	ダ
2022年 4月	1日	男性研究者のための研究支援員制度 公募開始		★			★
	"	令和4年度「研究支援制度(架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ支援)」公募開始					★
	"	「ちょこっと介護・見守り支援」開始					★
	19日	第6回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)	★	★	★	★	★
	20日	第1回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
	21日	令和4年度「学会参加時等の託児費補助制度」、「英語論文掲載料補助制度」、「AI講習会、研修会参加費補助制度」受付開始					★
	21日	「YAYOIプロジェクト」情報発信 メールングリスト登録受付開始					★
	22日	AI・臨床統計無料相談会(オンライン)					★
	27日	第1回介護サポート調整会議(オンライン)					★
5月	10日	女性医療人リーダー育成部門運営委員会(メール会議)	★				
	11日	第2回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
	19日	第7回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)	★	★	★	★	★
	24日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会(オンライン)				★	
	26日	第2回介護サポート調整会議(オンライン)					★
	27日	AI・臨床統計無料相談会開催					★
6月	3日	東京女子医科大学病院循環器内科とBangkok Christian HospitalとのTemi通信テスト実施					★
	11日	第2回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
	13日	「研究支援(AI研究スタートアップ研究支援)」面接審査実施					★
	14日	「研究支援(架け橋研究支援)」面接審査実施					★
	16日	第3回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
	16日	「研究支援(国際共同研究支援)」面接審査実施					★

活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

	日付	内容	リ	支	再	看	ダ
	21日	男性研究者のための研究支援員制度 公募開始		★			★
	24日	令和4年度「研究支援制度(架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ支援)」公募開始					★
	29日	「ちょこっと介護・見守り支援」開始					★
	29日	第6回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)	★	★	★	★	★
7月	15日	第9回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)	★	★	★	★	★
	22日	AI・臨床統計無料相談会(オンライン)					★
	26日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会(オンライン)				★	
	26日	「研究支援(架け橋研究支援)」再募集面接審査実施					★
	27日	第4回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
	27日	「研究支援(国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援)」再募集面接審査実施					★
8月	1日	第4回介護サポート調整会議(オンライン)					★
	1日	「研究支援」採択者決定(架け橋研究支援4名、国際共同研究支援2名、AI研究スタートアップ研究支援2名)					★
	2日	男性研究者のための「研究支援員制度」プレゼン・面接審査実施		★			★
	4日	第2回オープンイノベーション講演会					★
	8日	男性研究者のための「研究支援員制度」採択者決定		★			★
	18日	第10回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)					★
	22日	「彌生人メンター・メンティー賞」公募開始					★
	24日	「研究支援(架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援)」採択者授与式開催					★
	29日	「研究支援(架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援)」採択者授与式開催					★
	31日	第5回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
9月	2日	ファミリーサポート 保育サービス講習会		★			
	7日	第32回女性医師・研究者支援部門運営委員会		★			

活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

	日付	内容	リ	支	再	看	ダ
9月	20日	第11回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)	★	★	★	★	★
	22日	AI・臨床統計無料相談会					★
	27日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会(オンライン)				★	
	28日	第1回ピアラーニングforやよいびと 開催					★
	28日	第5回介護サポート調整会議(オンライン)					★
	28日	イタリア大学・研究担当大臣来学					★
	30日	JSTによる令和3年度 額の確定調査実施					★
10月	1日	令和5年度 男性研究者のための「研究支援員制度」公募開始		★			★
	3日	国際的に活躍する研究者等による「国際研究講演会・交流会」開催支援募集開始					★
	4日	「彌生人メンター・メンティ賞」選考会、受賞者決定(4組)					★
	20日	第12回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)	★	★	★	★	★
	21日	AI・臨床統計無料相談会(オンライン)					★
	24日	第6回介護サポート調整会議(オンライン)					★
	25日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会(オンライン)				★	
11月	1日	ファミサポ通信30号発行		★			
	2日	「彌生人メンター・メンティ賞」授与式開催					★
	9日	第8回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
	9日	ファミリーサポート運営委員会		★			
	14日	第7回介護サポート調整会議(オンライン)					★
	18日	第13回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)					
	21日	長野県松本保健福祉事務所・木曽保健福祉事務所 Zoom 視察					
	25日	AI・臨床統計無料相談会開催(オンライン)					

活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

	日付	内容	リ	支	再	看	ダ
12月	7日	第9回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
	10日	介護サポート通信第1号発行					★
	14日	第8回介護サポート調整会議(オンライン)					★
	19日	第2回ピアラーニングforやよいびと開催					★
	20日	第14回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)	★	★	★	★	★
	21日	画像データ演習会					★
	21日	ちょこっと介護説明会					★
	21日	介護サポート提供会員向け茶話会					★
	22日	Slackを利用した本学研究者のための「YAYOIコミュニティ」参加募集開始					★
	23日	AI・臨床統計無料相談会(オンライン)					★
	26日	ちょこっと介護説明会					★
	27日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会(オンライン)		★			
	28日	大阪公立大学 介護支援についてZoom視察					★
2023年 1月	5日	令和3年度研究支援採択者研究報告動画「東京女子医科大学公式YouTubeチャンネル」にて配信開始					★
	11日	国際共同研究採択者による後進育成活動 顔合わせディスカッション会					★
	12日	看護学部成人看護学でのtemi実装					★
	12日	ちょこっと介護説明会					★
	18日	2023年度研究支援員制度審査会		★			
	18日	国際共同研究採択者による後進育成活動 顔合わせディスカッション					★
	18日	第9回介護サポート調整会議					★
	19日	第15回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)	★	★	★	★	★
	19日	「キャリアセミナー」オンライン開催(秋田県医師会会長、秋田こどもの心と発達クリニック院長 小泉ひろみ先生)					★

活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

	日付	内容	リ	支	再	看	ダ
1月	20日	AI・臨床統計無料相談会(オンライン)					★
	25日	第10回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
	26日	第3回オープンイノベーション講演会					★
	26日	富山大学 介護支援についてZoom視察					★
	26日	ちょこっと介護説明会					★
2月	9日	第1回介護講演会(オンライン)					★
	9日	ちょこっと介護説明会					★
	13日	第2回医療・ヘルスケアAI講演会(オンライン)					★
	15日	ファミリーサポートスキルアップ研修		★			
	21日	第16回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)	★	★	★	★	★
	22日	第3回ピアラーニングforやよいびと					★
	22日	ちょこっと介護説明会					★
	24日	第1回科研費セミナー(オンライン)					★
	24日	AI・臨床統計無料相談会(オンライン)					★
	28日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会(オンライン)				★	
3月	1日	第11回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
	1日	読売新聞による女性医療人キャリア形成センターのキャリア形成とその支援への取組について取材	★	★	★	★	★
	3日	第15回ピアラーニング	★				
	8日	ちょこっと介護説明会					★
	9日	架け橋研究採択者による後進育成活動 顔合わせディスカッション会					★
	10日	e-ラーニングプロジェクトチーム会議(メール会議)	★	★	★	★	★
	13日	ちょこっと介護説明会					★

活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

	日付	内容	リ	支	再	看	ダ
3月	16日	第17回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)	★	★	★	★	★
	17日	女性医師再研修部門運営委員会(メール会議)			★		
	17日	女性医療人リーダー育成部門運営委員会(オンライン)	★				
	20日	第33回女性医師・研究者支援部門運営委員会(オンライン)		★			
	23日	女性医療人キャリア形成センターHPリニューアル	★	★	★	★	★
	23日	ちょこっと介護説明会					★
	23日	リーダーシップセミナー(オンライン) 足立医療センター副院長、麻酔科教授 小森万希子先生)	★				
	24日	女性医療人キャリア形成センター運営委員会(オンライン)	★	★	★	★	★
	24日	第11回介護サポート調整会議					★
	24日	AI・臨床統計無料相談会(オンライン)					★
	25日	2022年度女子中高生の理系進路選択プログラム「サイエンスカフェ」(オンライン)		★			
	28日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会(オンライン)				★	
31日	令和4(2022)年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」活動報告書発行	★	★	★	★	★	

業績一覧

【支援を受けた女性医師・研究者の業績一覧です】

学会発表

演者	形式	区分	研究会 学会名	タイトル	開催場所	年月日
番場嘉子、小川真平、 時任史聡、藤川秀爾、 相原永子、前田文、 谷公孝、中川了輔、 腰野蔵人、近藤宏佳、 金子由香、大木岳志、 井上雄志、岡本高広、 亀岡信悟、山本雅一、 板橋道朗、山口茂樹	サージカ ルフォー ラム	口演	第122回日本 外科学会定期 学術集会	~Joshii Surgical AI Project (J-SAP) ~女 子医大発の医師が操り 育てる外科的頭脳を 持ったAIシステムの開 発	ハイブ リッド	2022/4/ 14
富永絢子、和田圭司、 加藤義治、寺山恭史、 西英治、児玉泰輝、 島本周治、岡崎賢	ポスター	ポスター	第95回日本整 形外科学会総 会	ロモソズマブ12カ月 治療後のデノスマブへ の置換による骨代謝の 変化	横浜	2022/5/ 19
Makiko Mochizuki- Kashio, Ayako Nakamura- Ishizu	一般公演	口演	19thSCRS	Fanconi Anemia- related replication stress increases metabolic activity in fetal liver hematopoietic stem cells	淡路島	2022/5/ 27
Bamba Y, Ogawa S, Tokitou F,Kondo H, Itabashi M, Suzuki K,Morita S, Iwado K, Yamaguchi T, Masamune K, Yamaguchi S		口演	CARS 2022	Effective surgical education and development of an AI operation system designed for safety improvement and optimal cancer surgery by digitizing	Tokyo	2022/6/ 8
Hisako Nakayama, Mariko Miyata	一般講演	ポスター	NEURO2022	Social stress- induced synapse remodeling in the somatosensory thalamus	ハイブ リッド	2022/6/ 30-7/3
番場嘉子、板橋道朗、 小川真平、井上雄志、 隈本力、金子由香、 近藤宏佳、腰野蔵人、 中川了輔、谷公孝、 前田文、時任史聡、 岡本高広、岩藤和広、 亀岡信悟、山口茂樹		口演	第97回大腸癌 研究会学術集 会	東京	東京	2022/7/ 8

業績一覧

演者	形式	区分	研究会 学会名	タイトル	開催場所	年月日
番場嘉子、板橋道朗、井上雄志、小川真平、大木岳志、金子由香、近藤宏佳、腰野蔵人、谷公孝、前田文、相原永子、時任史聡、岩藤和広、山口茂樹		口演	第97回大腸癌研究会学術集会	人工知能AIを用いた大腸癌に対するTotal Navigation Surgery—診断・手術支援—	浜松町	2022/7/8
番場嘉子、板橋道朗、小川真平、井上雄志、隈本力、金子由香、近藤宏佳、腰野蔵人、中川了輔、前田文、谷公孝、時任史聡、岡本高広、亀岡信悟、山口茂樹	主題関連演題	口演	第77回日本消化器外科学会	ダイバーシティで推進される消化器外科における未来の医療	横浜	2022/7/20
番場嘉子			第2回オープンイノベーション講演会	究極のAI外科医を作りたい～進化する大腸癌手術～		2022/7/30
富永絢子、和田圭司、加藤義治、寺山恭史、西英治、児玉泰輝、島本周治、岡崎賢	ポスター	ポスター	第24回日本骨粗鬆症学会	ロモソズマブにおけるnon-responderの解析	大阪	2022/9/2
富永絢子、古谷武文、猪狩勝則、井上永介、田中栄一、山中寿、岡崎賢、針谷正祥	ポスター (優秀ポスター)	ポスター	第24回日本骨粗鬆症学会	日本人関節リウマチ患者における高カルシウム血症の頻度と関連因子—IORRAコホートにおける検討—	大阪	2022/9/2
富永絢子、古谷武文、猪狩勝則、井上永介、田中栄一、山中寿、岡崎賢、針谷正祥。	ポスター (優秀ポスター)	ポスター	第24回日本骨粗鬆症学会	日本人関節リウマチ患者における高カルシウム血症の頻度と関連因子—IORRAコホートにおける検討—	大阪	2022/9/2
Tominaga A, Wada K, Kato Y, Terayama Y, Nishi H, Kodama Y, Shimamoto S, Okazaki K	ポスター	ポスター	The American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR) 2022	Bone Mineral Density Non-response from Romosozumab Treatment in Patients with Osteoporosis	Texas	2022/9/9
辻口真世子、近藤光子、多賀谷悦子	一般講演	ポスター	第75回日本アレルギー学会学術集会	STINGを介した感染契機喘息発症マウスモデルにおける樹状細胞の動態 東京女子医科大学 内科学講座呼吸器内科学分野 辻口 真世子、近藤 光子、多賀谷 悦子	東京	2022/10/7-9

業績一覧

演者	形式	区分	研究会・学会名	タイトル	開催場所	年月日
番場嘉子、板橋道朗、小川真平、井上雄志、隈本力、金子由香、近藤宏佳、腰野蔵人、中川了輔、前田文、谷公孝、時任史聡、岡本高広、鈴木一史、森田賢、亀岡信悟、山口茂樹	ワークショップ	口演	第77回日本大腸肛門病学会	手術リアルタイム物体認識システムと拡張現実の融合によるAIナビゲーション外科手術	東京	2022/10/15
Makiko Mochizuki-Kashio, Kohtaro Takizawa, Fumio Nakamura, Ayako Nakamura-Ishizu	ポスター	ポスター	日本血液学会	Ptprd regulates hematopoietic stem cells through their miniexon domains	福岡	2022/10/15
富永絢子、野口昌彦、吉本憲生、丸木秀行、山田晃史、岡崎賢	一般講演	口演	第47回日本足の外科学会	変形性足関節症の鏡視下関節固定術後の隣接関節可動域の検討	愛媛	2022/11/3
富永絢子、野口昌彦、猪狩勝則、吉本憲生、丸木秀行、山田晃史、矢野紘一郎、岡崎賢	一般講演(優秀演題)	口演	第47回日本足の外科学会	リウマチ性足趾変形と非リウマチ性足趾変形の比較検討	愛媛	2022/11/3
Makiko Mochizuki-Kashio	一般公演	口演	64th ASH	Fanconi Anemia-related replication stress increases cytosolic activity	New Orleans, LA, USA	2022/12/9
望月牧子、石津綾子	一般公演	口演	第27回造血器腫瘍研究会	ファンconi貧血におけるミトコンドリア機能遷移の検討	広島	2023/1/20
富永絢子、猪狩勝則、矢野紘一郎、山田晃史、岡崎賢	一般講演	口演	第53回人工関節学会	人工距骨を用いたCombined TAAによる人工足関節再置換術の経験	横浜	2023/2/17
Hisako Nakayama, and Mariko Miyata	一般講演	ポスター	日本生理学会第100回記念大会	Remodeling of neuronal circuits in the sensory thalamus by postweaning social isolation.	京都	2023/3/15

業績一覧

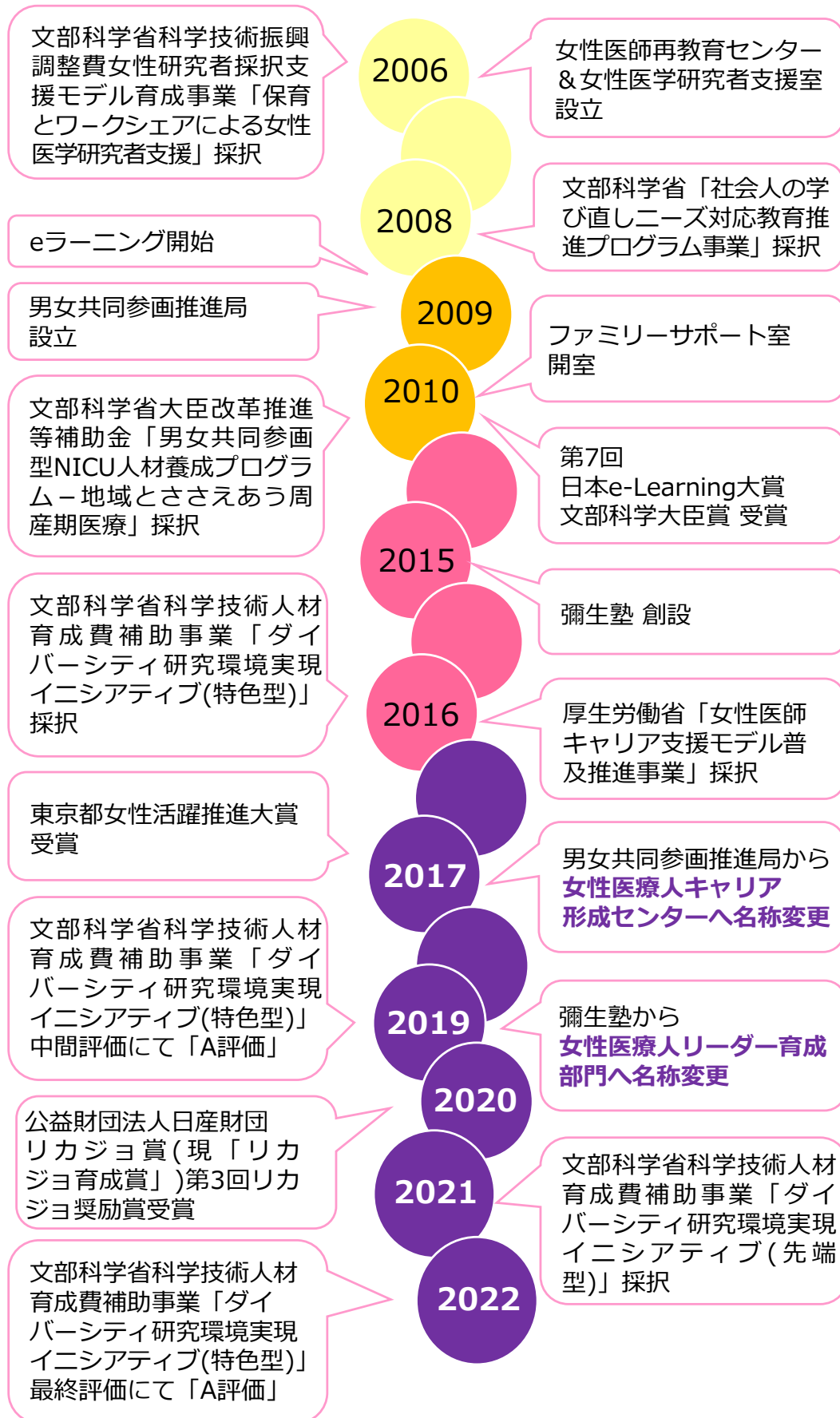
論文

著者名	タイトル	誌名
富永絢子、野口昌彦、丸木秀行、吉本憲生、山田晃史、岡崎賢	変形性足関節症の鏡視下関節固定術後の隣接関節可動域の検討	日本足の外科学会雑誌
Ayako Tominaga , Keiji Wada, Ken Okazaki, Hideharu Nishi, Yasushi Terayama, Shuji Shimamoto, Yasuteru Kodama, Yoshiharu Kato	Nonresponder considerations for romosozumab treatment	Caltified Tissue International, ahead of print
Mochizuki-Kashio M , Otsuki N, Fujiki K, Abdelhamd S, Kurre P, Grompe M, Iwama A, Saito K, Nakamura-Ishizu A	Replication stress increases mitochondrial metabolism and mitophagy in FANCD2 deficient fetal liver hematopoietic stem cells.	Frontiers in Oncology. 2023
Teruyoshi Hirayama, Yuuki Kadooka, Etsuko Tarusawa, Sei Saitoh, Hisako Nakayama , Natsumi Hoshino, Soichiro Nakama, Takahiro Fukuishi, Yudai Kawanishi, Hiroki Umeshima, Koichi Tomita, Yumiko Yoshimura, Niels Galjart, Kouichi Hashimoto, Nobuhiko Ohno & Takeshi Yagi	CTCF loss induces giant lamellar bodies in Purkinje cell dendrites.	Acta Neuropathologica Communications 10, 172 (2022)

その他

氏名	機関	名称	
番場嘉子		令和4年至誠会賞学術研究助成	2022/6/1
番場嘉子		東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター 令和4年度架け橋研究支援	2022/8/1
番場嘉子		大樹生命厚生財団 医学研究助成	2022/9/1

女性医療人キャリア形成センターのあゆみ



女性医療人キャリア形成センター基金

女性医療人の勤務継続支援および医療人としてのキャリア形成とリーダーシップ育成を行う目的として実施しております女性医療人キャリア形成センター基金につきましては、多大なるご支援、ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

これからの社会において多くの女性医療人たちが活躍できるよう、深いご理解とご関心をお寄せくださる皆様から賜りましたご芳志を深謝するとともに重ねて心からお礼申し上げます。

● **ご寄付合計額** 1,000,000円 (2022年度)

● **ご芳名一覧 (五十音順)** 匿名1名

申込方法、振込方法、免税措置（企業等法人、個人）など、寄付に関する詳細につきましては裏表紙に記載のセンター事務局までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

こちらからも詳細をご覧くださいませ ⇒



**女性医療人キャリア形成センター
Annual Report 2022**

発行 令和5(2023)年11月
編集 女性医療人キャリア形成センター
MAIL cdc.bm@twmu.ac.jp
URL <https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/>



東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1
TEL:03-3353-8112(内線 30166) FAX:03-3353-6793
MAIL:cdc.bm@twmu.ac.jp